



FLEX10KA ブレッドボード
CSP-017-10A
CSP-017-30A
ユーザーズマニュアル

R01

ヒューマンデータ

目次

はじめに	2
ご注意	2
1. 製品について	3
2. 製品の内容について	3
3. 各部の名称	4
4. ジャンパスイッチの説明	5
JP2,JP3,JP4 クロック設定（次表を参照ください）	5
JP8 FLEX10KA の nCE 信号	5
JP9 EPC2 の書込み電圧設定	5
JP7 FLEX10KA の MSEL0、MSEL1	6
JP1 CONFIG 用 ROM の切り離し用	6
5. L E D について	6
6. 電源の供給方法	6
7. コンフィグレーション方法	8
MAX+Plus から CSP-017 上の EPC2 に ISP する方法	8
コンパイル時の設定	8
EPC2 への書込み方法	9
JTAG 経由のコンフィグレーション方法	10
8. CSP-017 参考資料について	10
9. 付属資料	11

はじめに

この度は、FLEX10KA ブレッドボードをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

CSP-017-10A/30A は、アルテラ社の高性能 C P L D である EPF10KA を用いた試作評価用ボードです。
EPF10K10ATC144-3 を用いた、CSP-017-10A と
EPF10K30ATC144-3 を用いた、CSP-017-30A がございます。

本資料はこれらの共通（兼用）となっています。

どうぞご活用ください。

ご注意

1. 本書の内容は、改良のため将来予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
2. 本書の内容については万全の記して作成しましたが、万一誤りなど、お気づきの点がございましたら、ご連絡をお願いいたします。
3. 本製品の運用の結果につきましては、2 . 項にかかわらず当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。

有限会社ヒューマンデータ

〒567-0034 大阪府茨木市中穂積 1 - 2 - 5 1

シャトー春日第 3 ビル 2 F

TEL 0726-20-2002

FAX 0726-20-2003

e-mail:support@hdl.co.jp

URL <http://www.hdl.co.jp>

- MAX+Plus は、米国アルテラ社の商標です。

1.製品について

本製品は、アルテラ社の EPF10K10A または EPF10K30A を用いた評価基板です。
リセット回路、クロック発生回路、コンフィグレーション回路、ISP 可能なシリアルROMを内蔵しております。

本製品の品質保証は本製品単体での動作の範囲内といたします。

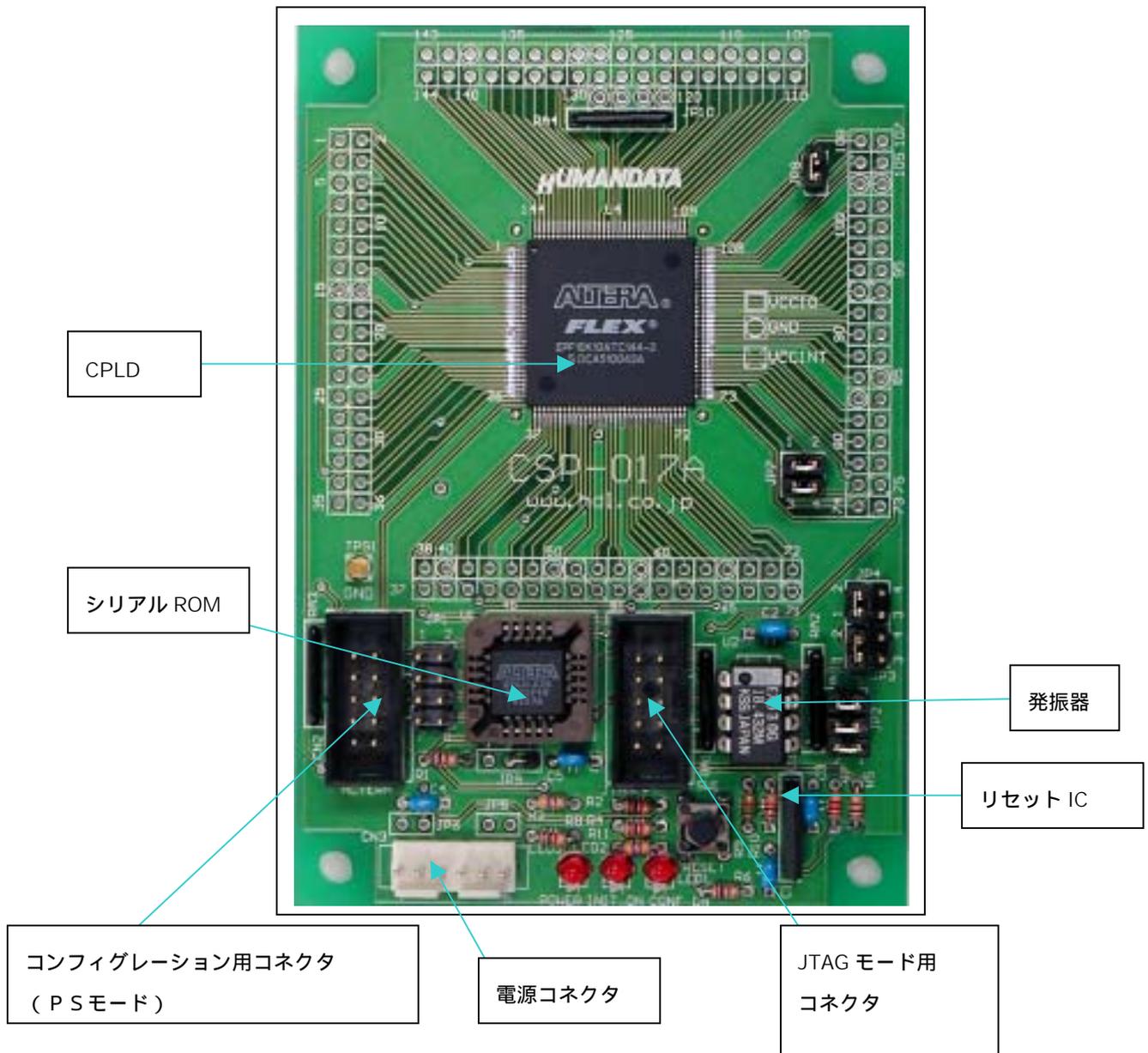
本製品を他のシステムと接続した時点で、本製品および、他のシステムなどすべての責任はお客様にあるものといたします。

2.製品の内容について

本パッケージには、以下のものが含まれています。万一、不足などがございましたら、弊社宛にご連絡ください。

FLEX10KA ブレッドボード	1
マニュアル（本書）	1
電源用コネクタ	1
拡張用ピンヘッダ	1
予備ジャンパピン	2
ユーザー登録カード	1

3.各部の名称



4.ジャンパスイッチの説明

JP2,JP3,JP4 クロック設定 (次表を参照ください)

JP3:FLEX の 7PIN へ供給

JP4:FLEX の 72PIN へ供給

EXO-03(クロック発生器 18 . 4 3 2 MHz の場合)

JP3 または JP4		JP2				周波数
1-2 間	3-4 間	1-2 間	3-4 間	5-6 間		
SHORT	OPEN	-	-	-	18.432 MHz	
OPEN	SHORT	SHORT	SHORT	SHORT	9.216 MHz	
OPEN	SHORT	OPEN	SHORT	SHORT	4.608 MHz	
OPEN	SHORT	SHORT	OPEN	SHORT	2.304 MHz	
OPEN	SHORT	OPEN	OPEN	SHORT	1152 KHz	
OPEN	SHORT	SHORT	SHORT	OPEN	576 KHz	
OPEN	SHORT	OPEN	SHORT	OPEN	288 KHz	
OPEN	SHORT	SHORT	OPEN	OPEN	144 KHz	
OPEN	SHORT	OPEN	OPEN	OPEN	72 KHz	

注 1) JP3,JP4 の 1-2 間または 3-4 間については、いずれか一方を接続してください。

JP8 FLEX10KA の nCE 信号

通常ショートしてください。

JP9 EPC2 の書き込み電圧設定

1-2 間 : 5V

2-3 間 : 3.3V(出荷時)

JP7 FLEX10KA の MSEL0、MSEL1

コンフィグレーションモード：通常は両方共ショートしてください。

JP1 CONFIG 用 ROM の切り離し用

ROM を実装したまま、PS モードでコンフィグレーションするときは、JP1 を全てオープンとして、ROM を切り離してください。

ROM からコンフィグレーションするときには、JP1 を全てショートしてください。

5. LED について

POWER：電源表示

INIT_DN：コンフィグレーションが完了して初期化が完了すると点灯

FLEX10KA の INIT_DONE 信号に接続。

(MAX+PLUS2 コンパイル時に INIT_DONE を使う設定が条件)

CONF_DN：コンフィグレーションが正常に終わったときに点灯

6. 電源の供給方法

CSP-017-10A/30A の電源は VIO(VCCIO)と VIT(VCCINT)が分離されています。

極性に注意して安定化された電源を供給してください。

CSP-017-10、CSP-017-20 では、VIO=3.3V として、パワーオンリセット回路の検出電圧が設定されています。

VIO を変更するときには、必要に応じて検出電圧の変更を行ってください(回路図参照)

1	2	3	4	5	6
VCCIO	VCCINT	GND	GND	VCCINT	VCCIO

CN3

7. コンフィグレーション方法

CSP-017-10A/30A では、3つのコンフィグレーション方法があります。

ByteBlasterMV などによるアルテラ独自方式 :PS-MODE

JTAG による方法 (ByteBlasterMV などを用いる) :JTAG

コンフィグレーション ROM (内蔵 EPC2) による :ROM

以下に、EPC2 への書込み方法と、JTAG でのコンフィグレーション方法を説明いたします。

MAX+Plus から CSP-017 上の EPC2 に ISP する方法

コンパイル時の設定

Global Project Device Options で、“Passive Serial(can use Configuration EPROM)”に設定後、コンパイルを行ってください。

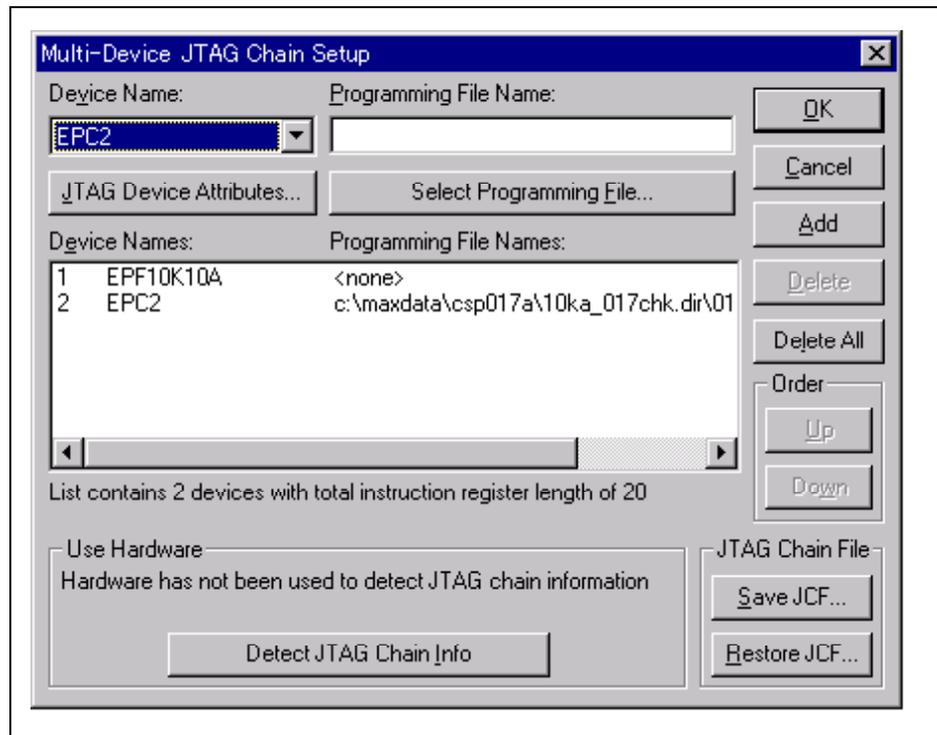
Configuration EPROM を“EPC2LC20”に設定してください。



EPC2 への書き込み方法

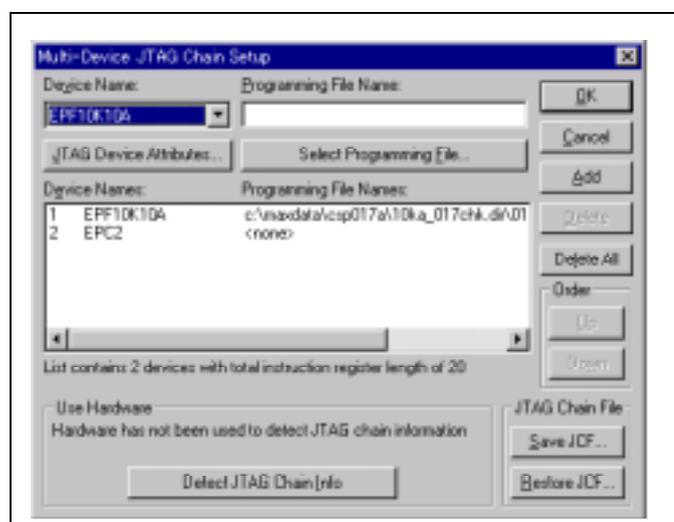
EPC2 への書き込みは JTAG により行います。

JTAG チェーンには、EPC2 と FLEX10KA がつながっています。それらの状態を、MAX+plus2 の JTAG Chain Setup により設定します。図を参考に設定してください。



JTAG 経由のコンフィグレーション方法

JTAG 経由で、FLEX にコンフィグレーションするには下図を参考に JTAG Chain Setup を行ってください。



8.CSP-017 参考資料について

参考回路はホームページからダウンロードを御願います。

<http://www.hdl.co.jp/hdlftphtml.html>

にデータをアップロードすることにいたします。

拡張子 “.exe” のときは、自己解凍ファイルといたします。

パスワードを求められたときは“thanks”を入力していただければ開けます。

9. 付屬資料

1. 回路図

FLEX10K10A/30A ブレッドボード

CSP-017-10A/30A

ユーザーズマニュアル

2001/10/17 第2版 (R 1)

2001/12/12 第3版 (R 1)

有限会社ヒューマンデータ

〒567-0034

大阪府茨木市中穂積1-2-51

シャトー春日第3ビル2F

TEL 0726-20-2002

FAX 0726-20-2003

U R L <http://www.hdl.co.jp>

M a i l support@hdl.co.jp
